

ぽらーの花巻

JAいわて花巻 PublicRelationMagazine, PolanoHanamaki

特集

広域合併10周年記念特別企画

Union is Power

～協同の力を未来へ～



ちょっと
いい話

ちやい×JA

コラボパン

今回の「パンコレクション2018inもりおか」に合わせて共同開発したパンを紹介します。これらのパンは、使用した食材の旬の時期のみ、こんびりベーカリーちやいで販売しています。



採れたてアスパラと人参カレーパン (200円)

生地にもカレーにもアスパラガスがぎっしりと詰まっています。なんと生地には30%も使用！アスパラガスの栄養がしっかりと入っています。また、中身のカレーには花巻産カレーを使っています。

クリーミーほうれん草ロールちゃん (200円)



新鮮な花巻産ホウレンソウのほか、ソーセージとコーンを手作りのホワイトソースであえた具材が入っています。パンの表面には花巻市の地域キャラクター「フラワーロールちゃん」のトレードマークであるロールをイメージした模様をホウレンソウであしらっています。



採れたてアスパラブチパン (5個入り250円)

だあすこの新鮮野菜を使用したベジパンシリーズの新商品！生地の30%がアスパラガスというアスパラガス盛りだくさんのテーブルロールです。

花巻産いちごのブチパン (5個入り300円)



ベジパンシリーズの姉妹商品！花巻産いちごをジャムにして生地に練り込んでいます。ほんのり甘くてもっちり食感！おやつにも食事にもおすすめです。

こんびりベーカリー ちやい

花巻市野田335-2
☎0198-23-0758
営業時間：午前9時～午後4時30分
定休日：毎週水曜日・毎月第4火曜日

1.おすすめのパンを持ち、笑顔を見せるスタッフたち 2.「パンコレクション2018」の様子。両日共に多くの来場者で賑わった 3.共同開発したパンの発表会では、従業員とJA役職員の交流を深めた 4.手作りで温もりのあるチラシ。毎月作成し、来店者に配布している 5.明るく清潔感のある店内。食パンやサンドイッチなどが所狭しと並ぶ

店 内に漂うパンの心地よい香り。こんびりベーカリーちやいには、毎日朝早くから作られる焼き立てのパンが所狭しと並んでいる。ちやいが母ちゃんハウスだあすこの隣に開設したのは平成14年の事だ。JAが福祉に力を入れていたことや、小麦の消費・普及拡大を進めようとして出店を打診した事がきっかけ。現在注目されている農福連携が約15年前から行われて

いるのである。その後、県産小麦100%の食パンや、だあすこで販売している旬の野菜を使用したパンなどを積極的に開発してきた。そんなちやいが今年3月、JAの広域合併10周年を記念して新商品の共同開発に取り組み始めた。だあすこ店内で旬の野菜をリサーチしたほか、JA職員から管内の農産物について聞き取りを重ねた。4月には試作を開始。ス

タッフと利用者による内部の会議も繰り返し行われた。より花巻をPRできないか。この問いを常に持ち続け、食材・味・見た目を何度も見直し試行錯誤を重ねた。こうして皆の協同により、こだわりの詰まったオリジナルパン4種類が完成したのである。これらのパンは、6月9日と10日に盛岡市で開かれた「パンコレクション2018」に出品。開店直後から多くの

来場者で賑わい、数時間で完売するなど人気を博した。パン開発を担当した高橋紀子課長表紙写真1列目左から2番目は「共同開発を通して、花巻の魅力を再発見でき楽しかった。これからも協力し合い、旬の食材を使ったパンを開発して花巻の活性化に繋がりたい」と意欲を見せる。多くの可能性を秘めている農福連携。ちやいとJAは、共に新たな一歩を踏み出した。

15年以上続くJAとの「農福連携」地域の活性化に繋ぐ“協同の力”

こんびりベーカリーちやい ◎花巻市



【店舗データ】社会福祉法人光林会が運営する焼き立てパンの店。店名は、農家のおやつという意味の方言「こんびり」とインドでお茶を意味する「ちやい」から由来し、「お茶をしながら食べたいと思うようなパンを作りたい」という思いが込められている。従業員はスタッフ8人と就労継続支援事業の利用者8人の計16人。食パンやサンドイッチ、惣菜パンや菓子パンなど毎日約30種類のパンを焼き、販売している。平成29年度の実績は、販売額2,200万円。

CONTENTS

ぼらーの花巻 ●No.245 / 平成30年(2018)7月号

- 02 ぼらーのCOVER STORIES
- 04 愛農土に生きるII 特集
- 08 広域合併10周年記念特別企画
- 10 Union is Power ~協同の力を未来へ~
- 12 ぼらーのNEWS ●地域の話題
- 13 あぐりネット
- 14 がんばる青年部 / 知って納得JA
- 15 旬の産直大百科 / ぼらーの広場
- 16 Information ●理事会だより / 監事会だより / 役員室より
- 16 風趣点景 ●管内四季だより / 編集後記

農家組合

農家組合は、集落における組合員とその家族による自主的な活動組織です。集落を基本に組合員を構成員として、営農・生活両面の協同活動を展開し、農業振興や地域コミュニティの活性化を担っています。農家組合の機能には、営農面・生活面・JA運営面の3つがあります。

農家組合協議会

花巻地域 農家組合協議会	10地区 農家組合協議会	154 農家組合
北上地域 農家組合協議会	6地区 農家組合協議会	82 農家組合
西和賀地域 農家組合協議会		31 農家組合
遠野地域 農家組合協議会	5地区 農家組合協議会	100 農家組合

農業まつり

「食と農」の大切さをアピールする事を目的に、各地域で毎年10月に開催しています。JA本店で開催している農業まつりでは、オリジナルの炊き込みご飯を昔ながらの羽釜で炊き上げる「ごはんを食べよう!飯炊き名人」、組合員が3世代で餅をつき、つきたてを来場者に振る舞う「三世代ふれあい餅つき大会」、組合員とその家族など有志による手踊りや郷土芸能などを披露する「おらほの芸能自慢ショー」などのイベントに参画しながら、JAと一体となって協同活動を盛り上げています。



男女混合ソフトボール大会

従来開催していた男子野球大会と女子バレーボール大会を一つにし、平成28年度から「男女混合ソフトボール大会」を開催。組合員とその家族の健康増進や各地域間の親睦と交流を深める場になっています。



はなまきキッズ農業塾

農家組合長の推薦により選出した小学5・6年生が消費地である東京都に向き、市場の見学やファーマーズマーケットでの販売などを体験。子どもたちに農産物の流通や食と農への理解を深めてもらい、次世代の担い手育成に励んでいます。



地域ごとの活動

農家組合には、JAとの事業連携における協同活動のほか、自主的に取り組んでいる活動があります。田植え後の慰労会にあたる「さなぶり」や実りの秋を祝う「収穫祭」、視察研修や交流会などを組合員とその家族を巻き込みながら行い、心豊かに暮らせる地域づくりに貢献しています。



地域の子もたちに農業の大切さや農作物のおいしさを伝えようとカボチャを贈呈(大迫地区農家組合協議会)



高橋 堅悦 会長
(花巻市下似内)

平成24年度から農家組合長を務め、平成26年度には宮野目地区農家組合協議会長、花巻地域農家組合協議会長に就任。平成30年度から全域の農家組合協議会長を務める。

現 在は、農家の高齢化が進んでいます。JAには「ゆりかごから墓場まで」の精神のもと、介護施設を充実させるなど、これからも農家を支えてほしいです。また、併せて地域の人口減少も課題になっています。減少をどう食い止めてどう増やしていくか。ピンチをチャンスに変える方法を考えていきたいと思っています。

農 家組合の活動の中でも大切だと感じるのは、やはり農業まつりへの参画です。「ごはんを食べよう!飯炊き名人」や「三世代ふれあい餅つき大会」などのイベントを通して、農家組合内の結束が深まるほか、各地域の農家組合が1カ所に集まることで地域を越えた交流の場にもなっています。さらに、このイベントは農業まつりのメインイベントの一つであり、多くの人が来場します。釜飯や餅の振る舞いにより地域住民と触れ合い、農業や農産物への理解を深めてもらう絶好の機会になっています。また、「はなまきキッズ農業塾」も子どもたちが流通を学ぶことができる大切な活動。市場見学やファーマーズマーケットでの販売体験などを通して、家族が生産した農産物の「その先」を勉強できる貴重な機会です。



Union is Power

~協同の力を未来へ~

JAいわて花巻は、平成20年5月1日にJAいわて花巻、JAきたかみ、JA西和賀、JAとおのの4JAが広域合併して以来、組合員をはじめ地域住民の皆様を支えられ広域合併10周年を迎えました。この10年間、JA運動の礎である組合員組織と支店が核となり活発な協同活動を展開。ともに力を合わせる事で“協同の力”を発揮し、地域の彩りある農業振興と元気な地域づくりに取り組みながら、今日のJAを築き上げてきました。

今月と来月の特集は、広域合併10周年記念特別企画。第一弾の今回は、組合員組織のあゆみを振り返り主な活動を紹介するとともに、各代表者の想いを紹介します。

- 平成26年2月
女性部・青年部合同沿岸地域支援活動「長靴ホッケー交流会」
- 平成22年4月
農家組合協議会統合総会
青年部設立総会
- 平成21年3月
女性部設立総会
- 平成20年5月
新生「JAいわて花巻」発足

JAが1つになるとき… 東日本大震災復興支援活動

平成23年3月11日に東北地方を襲った「東日本大震災」。このとき、私たちは“協同の力”を問われました。誰もが今まで経験した事がない被害のなかJAは組合員に支援を呼び掛け、組合員組織を中心にJAいわて花巻の力を結集。震災直後から現在まで、長きにわたって被災地に寄り添い、支援を続けてきました。

農家組合 白米一升運動

沿岸部からの「食料が足りない」という連絡により、JAでは農家組合を通じて白米の提供を呼び掛けました。停電の影響で情報伝達が難しいなか、組合員の相互扶助精神により最終的には46tの量を収集。精米する必要がない白米は、沿岸部の皆さんから喜ばれました。

青年部 草刈り支援活動

震災直後から、毎年お盆前に盟友たちが現地に向き、仮設住宅周りや住宅跡地で草刈作業を実施。また、津波で機械を流失したという住民の声を聞き、新品の草刈機械と薬剤散布機を寄贈しました。現在は、盟友が栽培した農産物の販売も行い、交流を深めています。

女性部 支援物資の提供

震災直後から、部員たちは緊急支援物資として毛布や衣類などの生活必需品を募り、数多くの物資が集まりました。部員たちが性別やサイズなどによって仕分けのち、沿岸部に届けられました。また、現在も継続して沿岸部の皆さんと交流を深め、「絆づくり」に繋がっています。

女性部

女性部は、JAをよりどころとして食や農、くらしに関心のある女性が集まって活動する組織です。食と農を守る活動を軸に、食育や高齢者福祉、子育て支援やくらしの活動など、幅広く活動を展開しています。また、家の光記事活用グループや各支部のグループ活動も積極的に行っています。

女性部	花巻地域支部	13支部 1,502人
	北上地域支部	6支部 411人
	西和賀地域支部	6支部 141人
	とおのよつば地域支部	13支部 660人

※平成30年2月末現在

エコ活動

消費電力の削減に繋げるとともに、女性部の活動を広く一般の方々に理解してもらおうと実施。支部ごとに、支店などのJA施設で花や野菜などの「みどりのカーテン」を栽培し、夏の暑い日差しを遮っています。



支部活動

各支部では、特色ある活動を展開しています。地域住民を交えて行うなど、部員外を巻き込んだ活動は広がっています。



家の光クッキングフェスタ

JAや家の光協会とともに、隔年開催。女性部員のほか、組合員やその家族、地域住民などが参加してJA管内各地域の特産物を使った料理を楽しみ、地産地消への理解を深めています。



- 1 地域住民を会員に加え、「やってみよう」という活動を展開。地場産のモモでジャム作りを楽しむメンバー（花巻地域支部花巻支部「びじゅつぶす」）
- 2 寒さや雪を有効活用した加工技術で地域特産の「凍み大根」を作っている（西和賀地域支部加工研究グループ）
- 3 「えごま煎餅」を製造。JAバンクのCMにも取り上げられた（とおのよつば地域支部「じゅうねの会」）

青年部	花巻地域青年部	10支部 262人
	北上地域青年部	6支部 66人
	西和賀地域青年部	41人
	遠野地域青年部	7支部 105人

※平成30年2月末現在

青年部

青年部は、JAをよりどころとして地域農業の振興を図る農業青年の集まりです。農業の担い手として農業振興を図るとともに、農業を通じて環境・文化・教育の活動を行い、地域に根差した社会貢献に取り組んでいます。次代を開く青年の情熱と協同の力で、常に新しいJA運動を探求し実践しています。

学習会&ポリシーブックの作成



農業の発展に向けた議論や盟友相互の交流を目的に年1回、学習会を開いています。また、自分たちの政策を記載し、課題解決のための方針を明記するポリシーブックを作成。青年部の考えや想いを発信しています。

支部活動

各支部では、地域に根差した活動を展開。盟友それぞれが地域農業を支えています。



廃プラ回収

地域貢献と環境を守る活動の一環として、各地域で実施。使用済みの農業用プラスチックやビニールを回収して地域農業に貢献しているほか、地域住民や盟友相互の交流の場にもなっています。



- 1 農業のある地域づくりの大切さをアピールする活動として、支部ごとに「立て看板運動」に取り組み（写真は北上地域青年部）
- 2 いわて花巻空港そばの多目的広場の草を刈る盟友。地域貢献活動の一環として毎年実施している（花巻地域青年部宮野目支部）
- 3 農作物の出来秋や無病息災などを願いながら「花巻まつり」に参加する盟友たち（花巻地域青年部）



藤原 智子 部長
(花巻市太田)

嫁いできたことをきっかけに女性部へ加入。平成25年度から太田支部長を務め、平成27年度には花巻地域支部長に就任。平成29年度から女性部長を務める。

J A職員には困ったときに相談できるほか、事務作業などさまざまな面で協力していただき助かっています。今後は、今以上に組合員組織との意思疎通を図りながら、共に歩みを進めていければと思います。

近 頃は、部員数の減少が課題になっています。5年後や10年後など長い目で見て部員数を増やしていくためにも、地域との繋がりを大切にしながら、生き生きと活動していくことが目標です。そうすれば、次第に活動に興味がある人、参加する人が出てくると思います。すぐに成果は出ないと思いますが、継続的に活動を展開していきます。また、農業まつりやふれあいプランなどに企画しながら、女性部の魅力や活動を発信していきたいです。

私 は女性部に加入し、講習会に参加したことがきっかけで「食の安全」に関心をもち、知識を深めることができました。女性部は、自分が知らなかった世界を知ることができるほか、人との繋がりを広められるのが大きな魅力。自分のやりたいことをみんなと共有しながら、JAをよりどころに生き生きと楽しく、地域との繋がりを深められるように活動を展開していきたいです。

青 年部への加入は人脈が増えるきっかけになり、人生の糧になっています。また、困った時には相談に乗ってくれる仲間がいて、とても心強いです。JAにはオリジナルのつなぎやポロシャツの製作に協力いただくなど、とても助かっています。行事の際にはJA職員に積極的に参加していただき、共に青年部の活動を活性化できればと思います。当青年部は県内一の盟友数を誇っており、これからも盟友間の交流を図りながら未加入の農業青年への加入を促し、更に青年部を盛り上げていきたいです。

ま た、沿岸部の支援活動も大切な活動の一つ。震災直後から草刈作業や盟友が栽培した農産物の販売などを定期的に行い、地域住民との交流を深めてきました。

広 域合併後、各地域の特性や活動を共有し、良い部分をお互いに吸収しようと盟友間の交流に力を入れてきました。年1回、全地域の盟友が1カ所に集い、研修やポリシーブックの作成を行う学習会の開催や農業まつりへの参画、県事業への参加などを通して交流と仲間づくりに励んできました。現在は新たにスポーツ交流を計画しており、これからも盟友間の交流に力を入れていきます。



高橋 裕之 委員長
(西和賀町沢内)

就農後、誘われた事をきっかけに青年部へ加入。約10年前からJA西和賀青年部委員長、広域合併後は西和賀地域青年部委員長を歴任し、平成26年度から青年部委員長を務める。

牛乳飲んで大きくなーれ 花巻駅前で牛乳をPR



雨ニモマケズ、駅利用者に牛乳をPR

JAやJA全農いわては6月1日、「牛乳の日」に合わせてJR花巻駅前で牛乳300本を配りました。

キャッチフレーズ「いわての元氣はいわての牛乳から」をテーマに、通勤や通学の駅利用者にも牛乳の効能などが書かれたパンフレットとともに、200mlの県産牛乳を「牛乳月間です」「牛乳を飲んで高校総体に備えましょう」と声をかけ配布しました。牛乳を受け取った小瀬川晴南さん(17)は、「今日が牛乳の日だと初めて知った。牛乳を飲んで今日のバドミントンの試合に備えたい」と話しました。

同イベントは、水沢駅や一ノ関駅など、県内3カ所で行われました。

芝居・歌・舞踊を楽しむ 組合員のつどい「梅沢富美男ふれあい歌謡ショー」



女形として美しい舞踊を披露した梅沢富美男さん

JAは6月20日と21日の2日間、組合員のつどい「梅沢富美男ふれあい歌謡ショー」を花巻市文化会館と北上市文化交流センターさくらホールで開きました。

広域合併10周年記念事業の一つとして開き、各会場共に昼と夜の2回公演を行いました。花巻会場1827人、北上会場1651人が来場しました。

梅沢富美男さんは、家の光とJA貯金をテーマにしたユーモアたっぷりの芝居「家の光」のほか、ヒット曲「夢芝居」や「白神恋唄」などをはじめとする全5曲を披露。公演の後半には、女形として美しい舞踊を披露し、来場者を魅了しました。

白ワイン冷やしてどうぞ 「五月長根葡萄園」出発式



出発式でテープカットをする関係者

(株)エーデルワインは5月31日、同社前(花巻市大迫町)で2017年産の白ワイン「五月長根葡萄園」の出発式を行いました。

社員や生産者、JA関係者など約50人が出席し、藤館昌弘代表取締役社長は「日頃から丁寧に栽培している農家さんのおかげで長年販売できている」とあいさつ。テブカットのあと、参加者全員でワインを積んだ車両を見送りました。

ワインは、同町でエコファーマー認定農家が栽培した「リースリング・リオン」を使用。爽やかな香りで、キレのある酸味と果実味のあるバランスのとれた味わいに仕上がっています。

支店に集い交流深める 各支店で「ふれあいプラン」がスタート



カラオケ大会やさまざまな料理を楽しむ組合員たち

各支店で、組合員とその家族、役員が集まり交流を深める「ふれあいプラン」が始まりました。

地元農畜産物の振る舞いや伝統芸能の披露など、地域の特色を生かし工夫を凝らした内容で、各支店が夏まつりやビアガーデンを開催。11月まで行われる予定です。

6月23日には、全支店のトップを切り西和賀地域で開催。JA職員が肉を焼くなどして約110人の組合員たちをもてなしたほか、農家組合や女性部が料理を持ち寄り、各家庭の味を楽しみました。カラオケ大会では参加者の熱唱ぶりに会場が盛り上がり、たくさん笑顔で溢れました。

旬の地元野菜や食材ズラリ

タヴェルナ収穫祭



地元の旬な食材を使った料理が並びました

イタリアンダイニング「ラ・タヴェルナ」(北上市本通り)は毎月第1日曜日、地元農家と県産の野菜や食材を使った料理をビュッフェ形式で提供する「タヴェルナ収穫祭」を開きます。

収穫祭は一昨年から開催し、今年度からは旬の野菜とその調理方法を知ってほしいとの思いから毎月開きます。

初回の6月3日は、13農家のアスパラガスやトマト、ホウレンソウなどの食材を使い、サラダやピザ、パスタなど約40品が並びました。来店した約80人は、料理に添えられた食材を作った農家の名前を見ながら一品一品手に取り、旬の地元食材に舌鼓を打ちました。

同市の農家である高橋賢さんは「北上市を食文化豊かな町にしたい。農家やレストランだけでなく、お客さんと一緒になって盛り上げていきたい」と力強く話しました。

花バスケットを学ぼう 女性部宮野目支部フレッシュ部



花の特徴について、講師(左)の話を聞く参加者たち

女性部宮野目支部フレッシュ部は6月9日、宮野目支店(花巻市東宮野目)で部会員と地域住民約25人がハンギングバスケット作り挑戦しました。

参加者はハンギングバスケットに向く花の種類や土、花の入れ方などを聞き、自分好みのバスケットを作りました。講師や参加者同士で作った作品を見せあい、交流を楽しみました。女性部員から誘われ姉妹で参加した岡本恵子さんは「ガーデニングをやっているので勉強になった。交流しながらできて楽しかった」と話しました。

フレッシュ部の次回の活動は、冬に子どもたちも簡単に作れるバレンタイン料理教室を行う予定です。

園芸

生産・消費拡大を目指し「花き販売戦略会議」を開催

花き生産を将来に渡って安定的に継続発展させるために、花き部会とJAは6月7日、花巻市内のホテルで重点取引先8社を招へいし、「花き販売戦略会議」を開きました。生産者やJA、取引市場、行政など約35人が参加。右記の4項目についてさまざまな立場からの提言や要望を協議しあい、活発な意見交換が行われました。



【協議内容】

1. 平成30年度全農岩手県本部花き生産販売対策について
2. 平成30年度花巻農協花き販売対策について
3. 産地情勢
4. 販売情勢

JAいわて花巻は、リンドウ・小菊・トルコギキョウ・カンパニュラを中心とした多品目産地です。各地域花きの生産者組織は、生産・消費拡大に向けて、規格・出荷体制づくりや鮮度保持などに取り組んでいます。

園芸

各品目で指導会・説明会を開催！意識統一を図る

◆小菊現地指導会

5月31日に北上市内の4カ所で開き、約40人が参加しました。本格的な管理作業に向けて、栽培方法や意識を統一しました。



同市和賀町岩崎で開いた指導会には、生産者やJA、県中央農業改良普及センターなど約20人が参加。センター職員が今後の管理作業や病害虫防除について説明し、晴天が続く時や畑が乾燥している時のかん水や排水路の点検などを呼び掛けました。また、生産者のほ場を見学し、生育状況を確認したほか情報交換を行いました。

◆タマネギ収穫出荷説明会

6月8日に宮野目支店敷地内にある宮野目出荷場（花巻市東宮野目）でJAが生産拡大を進めている加工向け秋植えタマネギ



の収穫出荷説明会を開き、生産者やJAなど約35人が参加しました。

JA職員が現在の生育状況や今後の収穫作業、乾燥調整などについて説明。収穫は必ず晴天時に行うこと、収穫後は雨があたりず通風の良い倉庫やビニールハウスなどにタマネギを広げ2週間から3週間程度陰干しを行うことなどを呼び掛けました。



平成30年度の栽培

作付面積：16.7ha

販売額：1億806万円



平成30年度の栽培

作付面積：18ha

販売額：3,800万円

園芸

野菜の生産拡大・販売力強化を目指して「野菜対策会議」を開催

JAでは、水田と園芸作物の複合経営による農業者の所得増大・生産拡大を積極的に進めています。野菜部会とJAは6月22日、北上市内のホテルで野菜販売の強化を図るため「JA野菜販売対策会議」を開きました。

【参加者】

生産者、JA、取引市場8社、行政など約65人

【協議内容】

1. 平成30年度野菜生産販売方策について
2. 野菜生育状況並びに出荷見通しについて
3. 平成30年度全農岩手県本部園芸事業推進方法について
4. JAいわて花巻産野菜に対する要望、販売重点取り組みについて
5. 全体討議・意見交換

上記の5項目を協議しました。中でも全体討議や意見交換では、市場関係者と生産者が要望や意見を出

し合いました。また、生産・販売振興に向けた今後の目標を全員で確認し、意識統一しました。



皆さんの意見を頂戴して生産者が努力し、より多くの販売に繋げたい。

野菜部会
福地孝市部会長

◎市場関係者の声

- ★JAいわて花巻の純情野菜を大手スーパーなどにも増やしていきたい
- ★担当者との話し合いを増やしてコミュニケーション不足を改善し、いい取引をしていきたい。
- ★地元の野菜を地元からもっと発信し、良い販売をしていきたい。

畜産

肥育部会女性部枝肉研究会



肥育部会女性部は6月7日、東京都の東京食肉市場(株)で「第4回花巻農協肥育部会女性部枝肉研究会」を開催しました。

去勢、雌の黒毛和種合わせて24頭が出品。審査の結果、上物率は91.6%、最優秀賞には北上市の高橋郁子さんの出品牛（去勢、生体重852kg、枝肉重量549kg）が選ばれました。重量に恵まれ光沢に優れていることが評価されました。高橋さんは「毎日世話をしていた牛が、高い評価をいただけて嬉しい。努力が実った」と笑顔を見せました。

◆輝く！女性の力

研究会は、北上地域肉牛部会女性部が平成6年から開催。平成27年からは管内全域の肥育に携わる女性を対象に開いています。技術の研さんと交流を深めるとともに、女性の活躍の場を広げ畜産を活性化させる事を目的としています。

園芸

露地イチゴ大粒収穫目指す！

西和賀地域の露地イチゴは地域特有の涼しい気候を生かし、全国各地の出荷が終わる7月初めに最盛期を迎えます。



6月20日には、西和賀地域営農センター農産物集出荷場（西和賀町沢内）で目揃え会を開き、部会員や市場関係者など15人が参加。大粒での集荷が高値取引されることから、生産者は今後の栽培管理と出荷に向けて意識統一をしました。

◆平成30年度の栽培

販売面積：約65a
販売目標：2,024万円



◆イチゴの栄養

イチゴ100gには62mgものビタミンCが豊富に含まれています。このほかにも、成人病の予防などに効果的なペクチン（食物繊維）や、抗酸化物質として知られるポリフェノールの一種であるアントシアニンも含まれています。

各グリーンセンター定休日

7・8月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。

※右記のほかに、8月31日(金)が第2四半期決算棚卸しのため全店舗休業します。

	定休日	営業時間	お盆期間中の臨時営業時間
花巻	7/18(水)・8/22(水)	平日…8:30~17:30/土・日・祝日…8:30~17:00	13(月)・14(火)・15(水)…8:30~17:00/16(木)…8:30~15:00
石鳥谷	7/14(土)・8/11(土)	8:00~17:30	16(木)…8:30~15:00
大迫	土・日・祝日	8:30~17:00	
東和	7/21(土)・8/18(土)	8:30~18:00	
北上	7/16(月)・8/26(日)	平日…8:30~18:00/土・日・祝日…8:30~17:00	14(火)・15(水)…8:30~17:00/16(木)…8:30~15:00
西和賀	7/16(月)・8/13(月)	平日…8:30~18:00/土・日・祝日…8:30~17:00	
遠野	7/11(水)・8/15(水)	8:30~18:00	14(火)・16(木)…8:30~15:00

●お問い合わせ／営農部生産資材課 ☎ 0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで

旬の産直大百科

北上産地直売所あぜみち旬の食材使い料理教室を開催!



産直あぜみちの会若手部会は、JA北上地域調理研修施設「来夢」(北上市流通センター)で旬の食材を使った料理教室を企画しました。

第1回目は5月29日に料理研究者として活躍する千葉星子さんを講師に招き、若手部会の部会員と参加者合わせて約20人で「アスパラとしらすのレモンクリームパスタ」「アスパラのピクルス」「スモークサーモンとアスパラのパイ包み」「アスパラのしっとりバターケーキ」の4品を作りました。参加者は千葉さんに調理のポイントを熱心に聞きながら、協力して調理を行いました。調理後には作った料理を食べながら、参加者同士で情報交換や千葉さんに他の野菜の調理の仕方などを聞くなどして交流を楽しみました。



◆今後の予定
 【第2回目】 ※キャンセル待ち
 日時…7月25日(水)
 講師…十良澤健二さん(steak&bistro小春日和オーナーシェフ)
 旬の食材…ナス
 【第3回目】 ※キャンセル待ち
 日時…9月20日(木)
 講師…千葉星子さん
 旬の食材…二子さといも
 【第4回目】
 日時…11月14日(水)
 講師…十良澤健二さん(steak&bistro小春日和オーナーシェフ)
 旬の食材…西洋野菜
 ◆定員…各15名
 ◆料金…1,800円
 ◎お申込み・お問い合わせ
 北上産地直売所「あぜみち」 ☎0197-71-1338

がんばる青年部

知識と交流を深める北三県合同研修会を開催

岩手、青森、秋田の3県の青年部は6月19日、岩手県で「北三県JA青年部合同研修会」を開きました。北東北3県から盟友約90人が参加し、園芸品目を中心に奥州市江刺の(株)菅野農園と横瀬集落営農組合を視察するコースと、転作作物を中心に花巻市の盛川農場と農事組合法人リアルを視察するコースに分かれ研修を行いました。

花巻市内を巡るコースには、各県協議会役員やJAいわて花巻青年部の盟友など約40人が参加。米や小麦、大豆などを栽培する盛川農場ではトラ



積極的に質問をする盟友たち

クターやコンバインなどの大型農機を中心に見学しました。青年部の新淵伸彦副委員長が代

表を務める農事組合法人リアルでは、春定植タマネギのほ場や施設、機械などを見学。参加者は法



新淵代表(右)から説明を聞きました

人の経営内容のほか、春定植タマネギの生産を始めた理由や栽培のメリット、収量などを聞き、学びました。

秋田県農業協同組合青年部協議会の佐川長範委員長は「私が住んでいる地域と環境や農地面積などのケースが似ていた。身近なこととして捉えられ、イメージが湧いて参考になった」と話しました。

ぼらーの広場

ぼらーの広場は、読者の皆様との交流の場です。皆様からテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。

今月のテーマ 山派?海派?

投稿を頂いた方の中から抽選で、今月は

エコープ商品詰め合わせ

をプレゼント!

やっぱり山でしょ!春は山菜、夏は森林浴、秋はきのこ。近所や友人にお福分けし、食べているときの笑顔がたまりません。(遠野市・山の男)

山登りが大好きです。自然の中で1日歩くと、体の中から悪い気が出され、良い気で満たされていくのが実感できます。(北上市・ひろばあ)

山派です!離れて暮らす家族と登った富士山からの御来光、虹が忘れられません。山頂で食べたカップ麺は500円の価値ありでした。(北上市・UFO)

頂上に立ったときのパノラマをひとりじめする登山は最高。手を伸ばせば空や雲に手が届きそうな感じも好きなので山派です。(花巻市・みさき)

子供の頃はどちらかという海派でした。泳ぐのが苦手でしたが海のほうが楽しかったですね。今はどっち派でもないですが。(花巻市・ざっしー)

山派でも海派でもなく農派です!まだまだ現役!トラクターで農業をしています。働くことが元気の源です。(遠野市・遠野のじっちゃん)

来月のテーマ(9月号掲載)「お月見」応募締切/8月10日(金)消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。皆さんはお月見をしますか?また、お月見をする場合お団子は何団子を食べますか。応募方法:①テーマにちなんだお話②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。右記のQRコードからのご応募もできます。

※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。
 ●はがき:〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻組織広報課「ぼらーの広場」宛
 ●メール: polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

5名様にプレゼント!
 プロ農夢花巻
 「雑穀商品詰め合わせ」



JAいわて花巻
 応募フォーム

<https://www.jahanamaki.or.jp/entry/index.php>

知って納得JA

—協同組合の力—

Q JAは、どうやって運営しているの?

A 総会や地区別座談会などを通じて、組合員自らが運営方針を決めています。

JAは、出資して、事業を利用する組合員が、自ら運営する協同組合です。JAの事業や運営の方針は、正組合員全員が集まって毎年開催する総会(もしくは総代会)で決定します。

さらに、事業や運営に組合員の声をより反映するため、多くの仕組みが設けられています。集落などを単位に地域別の座談会を開催し、JAの役職員と組合員が意見交換を行います。また、支所・支店では、運営委員会やふれあい委員会を組織化し、支所・支店の運営や活動を行います。このほか、職員が全組合員の自宅を訪問し、組合員や家族の声を聴く一斉訪問などを通じて、組合員による運営が行われています。

(監修=広島大学 助教 小林元)



協同組合原則 第2原則
 組合員による民主的な管理

JAの運営に組合員の声を生かすための仕組み

総会(総代会)

正組合員で構成され、JAの事業や運営の方針を決定します。正組合員が500人以上のJAでは、総会に代わり、正組合員の中から選ばれた総代による総代会を設けることができます。

地域別座談会

集落などを単位に地域別に開催されます。JAの事業や運営について、JAの役職員と地域の組合員が意見交換を行います。

一斉訪問

JAの職員が組合員宅を訪問し、意見や要望を直接聴いて事業に生かします。組合員とJA役職員の絆を深めるのに役立ちます。



耕そう、大地と地域の未来。

JAからの
お知らせ

JAの一日人間ドックのご案内

大切な家族、自分の将来の為に健康チェックを受けてみませんか？

〈検査料金〉

通常 **48,600円**

JAで
お申し込み頂くと

男性 **42,120円**

女性 **42,660円**

で受診できます！

〈受診場所〉JA岩手県厚生連人間ドックセンター(盛岡市)または県内センター(金ケ崎町)

特徴

- 70項目以上の検査で自分の健康をチェック!病気の早期発見!
- 脳MRI・MRA検査をはじめ、各種オプション検査を用意
- 一日で総合的な検査が可能
- 検査結果は一部を除き当日判明。結果にもとづき医師の指導、保健師・栄養士からの健康支援を受けることができる!

JA人間ドック助成金は、当JA正・准組合員及びその家族ならびに当JA長期共済契約者の方が対象です。

〈お問い合わせ・お申込み〉

福祉課 ☎0198-27-3890

北上 ☎0197-71-1314

西和賀 ☎0197-85-3301

遠野 ☎0198-62-2055

秋の味覚「イーハブドリ」お届けします!

豊かな自然の恵みをたっぷりと浴びた、みずみずしいブドウ「イーハブドリ」の全国発送の受け付けを8月から開始します。大粒の果粒にコクのある甘味がいっぱい詰まった旬の味覚を、大切な方へお届けしませんか？

商品記号	商品名	容量	価格	発送時期
A	紅伊豆 (限定1,500ケース)	化粧箱 2kg標準	5,000円 (送料・消費税込)	9月上旬～
B	ロザリオビアンコ (限定1,000ケース)	化粧箱 2kg標準	5,000円 (送料・消費税込)	9月中旬～

◎受付期間:平成30年8月1日～31日まで ◎送付方法:日本郵便(クール便)

※天候や生育の状況により、発送時期がずれる場合があります。あらかじめご了承ください。

※お客様からお預かりした個人情報は、JAにおいて厳重に管理し、ご注文の発送および今後の商品情報の提供などに使用します。

●お問い合わせ 営農部園芸販売課 ☎0198-22-6217

役員室より

求められる食料生産



代表理事組合長
阿部 勝 昭

米の生産調整は平成30年から従来の「目標」から「目安」に変更されました。米の減反政策は、一定の転作面積の配分を柱とした本格的な生産調整として昭和45年に始まり、約半世紀で廃止となりました。

ところで、奈良時代には既にお米を主食として、おかずを併せて食べるパターンができていたそうです。ごはんと共に食べる料理は野菜の菜の字、サイと呼ばれ、平安時代になると、ご飯に併せて食べるから「あわせ」と呼ばれていたとのこと。ご飯は一本脚の膳に盛って真ん中に据え、「重」と書いて「おももの」、その回りに並んだ料理を「おまわり」と呼び、「おまわり」の数が多くほど御馳走だったので、それを「かずもの」と呼び、そこにオカズが付いて「オカズ」と呼ぶようになりました。米を主食とする「和食」は「ユネスコ無形文化遺産」に登録されましたが、「主食」の米は「趣食」扱いとなり、食の変化、需要に応える生産対応が産地に求められている今、農業改革、JA改革の一環として取り組まなければなりません。

スマート農業体験試乗会

自動操舵補助システム生産メーカー3社が集結し、農業機械に体験試乗することができます。興味のある方は、ぜひお申し込みください。

■日時

7月31日(火)
午前10時30分～午後3時

■場所

(農)農プロ上似内のほ場
花巻市上似内第13地割194-1～3、195-1～6

■申込方法

花巻市農政課に設置している参加申込書に必要事項を記入のうえ、7月27日(金)までにお申し込みください。

●お申込み・お問い合わせ先

花巻市農業振興対策本部事務局
☎ 0198-23-1400
FAX 0198-23-1403
メール takuhiro2533@city.hanamaki.iwate.jp
(担当:花巻市農林部 上原)

花巻市農政課では農業用ドローンによる農作業実演会も開催します。

■日時

7月23日(月)
午後1時30分～午後3時
※悪天候の場合は、予備日に延期します。
7月26日(木)
午後1時30分～午後3時

■実演内容

産業用マルチローター(農業用ドローン)を利用したハトムギの病害虫防除

■申込方法

上記「スマート農業体験試乗会」と同様です。7月19日(木)までにお申し込みください。

びじゅっぷ BIJYAPUに遊びに来ませんか?

BIJYAPUでは、地域の方々や子育て中のお母さんなど誰でも集まって、自分の時間を楽しむ「場所」を提供します。趣味や挑戦したいことなど、皆さんの「やってみたい」を形にしてみませんか? 出入りは自由です。

■開催日時・場所

毎月第2土曜日・第4日曜日(原則)
午前9時～午前11時30分まで
農協野田神社「洗心館」
※参加費は、300円～(目安)
※幼児無料

※詳しい内容は、JAのホームページをご覧ください



●お問い合わせ

女性部びじゅっぷ事務局
☎080-1811-4522

情報番組「あいのうどjam」ラジオ放送中

JAは、農業や農産物の魅力、JA事業の紹介などを広く地域住民に伝えるため、えふえむ花巻(株)で情報番組「あいのうどjam」を放送中です。JA職員とパーソナリティの掛け合いをぜひ、お聞きください。

■ラジオ局

FMOne (78.7MHz)

■放送日時

毎月第2・4木曜日
午前7時36分から8分間
(生放送番組・まんず787内)

■放送内容

旬の農産物紹介、産直情報、JAの事業紹介、イベント情報など

●お問い合わせ

企画部組織広報課
☎0198-29-4011

グリーンホーム落合

リニューアルオープン!

この度「グリーンホーム落合」落合の湯がリニューアルオープンします。皆さまのお越しを職員一同心よりお待ちしております。

★オープン日…7月17日(火) 午前9時30分～

★一般入浴時間…午前9時30分～午後9時(入館午後8時30分まで)
※毎週月曜日は午後3時まで

★入浴料…大人400円/小学生100円/小学生未満無料

★施設部屋利用…お一人様600円(5名様以上で要予約)
※午前9時～午後4時まで

お問い合わせ
グリーンホーム落合 ☎0198-27-3390

●監事会だより

次の事項について協議されました。

第4回監事会 開催日…6月5日(火)

■協議事項

- (1) 平成30年度個別監事報酬の配分について
- (2) 平成29年度決算監査回答書の受理について
- (3) JAバンク財務モニタリング結果に対する監事意見について
- (4) 平成30年度第1回常勤理事と監事との定期的会合について

第5回監事会 開催日…6月27日(水)

■協議事項なし

●理事会だより

次の議案について審議され、全議案議決されました。

第4回理事会 開催日…6月5日(火)

■決議事項

- 第1号議案 平成29年度決算監査「改善を要する事項」の回答について
- 第2号議案 平成30年度個別理事報酬の配分について
- 第3号議案 平成29年度連結決算の承認について
- 第4号議案 平成30年度信用供与等の最高限度額の設定について
- 第5号議案 信用事業方法書(金融機関等の業務代理)の変更について
- 第6号議案 業務委託契約(利益相反取引)の承認について

風趣点景

管内四季だより⑳



花巻市石鳥谷町大瀬川
 山中に咲くカキツバタ群
 落。新聞記事で知り現地
 目指して出かけたのです
 が皆目場所が分からず、
 近くの施設で聞き何とか
 見つけることが出来まし
 た。

道端の畑を通り丘の下
 を見下ろすと、いきなり
 カキツバタ群落が出現し
 ました。

牧草地にするため埋め
 られたという湿地帯。そ
 こに自然のままに群生し
 ている青紫の花々。伸び
 伸びと自由を謳歌してい
 るようでした。

「自然のままに」

花巻市石鳥谷町(大瀬川山中)

写真・文/高沢 翔(西和賀町沢内)

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ(デジタルカメラ) 2017年7月中旬
ISO感度:200 絞り:f22 露出補正:+0.7



これからどんどん暑くなる
 季節ですね。もともと肌
 が黒い私は、毎年「今年こそ
 は焼けないようにするぞ」と意
 気込んで夏を迎えます。しか
 し、野外のスポーツを続けて
 いるのと太陽に好かれてい
 るのかすぐに吸収し毎年、焼け
 すぎて真っ黒になってしま
 います。皆さんはお出かけや農
 作業をする際には日焼け対策
 に加え熱中症対策として水分
 補給と塩分補給を行うように
 してください。そして適度な
 休息をこころがけ今年も暑さ
 に負けず元気に夏を乗りき
 りましょう。

「木村」

半年が過ぎ去り、上半期に
 趣味で撮影した写真を振
 り返ってみた。めがね橋と星
 空、展勝地の桜ライトアップ、
 錦秋湖に打ち上がる花火！。
 撮った写真の数だけ、琴線に
 触れるものがあった。確信は
 ないけれど、それらは今の自
 分を作ってきた一部だろう。下
 半年は広域合併10周年記念式
 典に始まり、農家組合のソフ
 トボール大会、農業まつりと
 イベントが目白押しだ。その
 分、時間が早く感じられるだ
 ろう。そんな時こそ少し立ち
 止まって、心に触れる事を大
 切にしたい。それが未来の自
 分を創ると信じて。 「佐藤



編集後記

From Editor's